

ガバナー月信

第2640地区 2015年12月(6)



Be a gift to the world

2015-16年度の国際ロータリー会長に就任するK.R. ラビンドラン氏は、同年度のテーマを「世界へのプレゼントになろう」としました。ラビンドラン氏はロータリー会員に、より良い世界をめざして、時間、才能、知識を世界中の地域社会に贈るよう呼びかけます。「ロータリアン会員が自らを『プレゼント』することによって、世界中の人びとの生活を真に改善できるのです」

ソウル国際大会の登録に関するレポート：第2640地区

第2640地区の登録者数目標	300名	
支払い済みの登録者数 (2015年11月23日現在)	8名	2%
登録者総数 (2015年11月23日現在)	8名	2%

国際ロータリー 第2640地区ガバナー事務所

- ・住所 〒640-8281 和歌山県和歌山市湊通丁南1-3-1
- ・TEL 073-433-6077
- ・E-mail office@2640.jp
- ・ホームページ <http://www.2640.jp>



RI会長エレクト

- ジョン F. ジャーム
- 2016-17年度会長
- Chattanoogaロータリークラブ所属
- 米国(テネシー州)



- エンジニアリングのコンサルティング会社、Campbell and Associates社の理事兼CEO。同社に入社前は空軍に4年間在籍。Public Education FoundationとOrange Grove Centerの理事および執行委員、Blood Assuranceの理事長、Chattanooga State Technical Community College Foundationの創設者および財務長、Tennessee Jaycee財団の会長。
- 1970年に「Tennessee Young Man of the Year」賞、1986年に「Engineer of the Year」賞、1992年に「Volunteer Fundraiser of the Year」賞、2009年に「Tennessee Community Organizations Volunteer of the Year」賞を受賞。そのほか、「Boy Scouts Silver Beaver Award」賞と「Arthritis Foundation Circle of Hope Award」賞を受賞し、2013年に米政府より「Champion of Change」として表彰される。
- 1976年にロータリー入会。以来、RI副会長、理事、財団管理委員と副管理委員長、財団管理委員長エイド、ロータリー2億ドルのチャレンジ委員長、RI理事会執行委員、RI会長エイド、規定審議会代表議員および議長、会員増強ゾーンコーディネーター、多数の委員会委員長、エリアコーディネーター、RI研修リーダー、地区ガバナーを歴任。
- RI超我の奉仕賞、ロータリー財団功労表彰状、特別功労賞を受賞。ジュディ夫人とともに財団のベネファクターおよびアーチ・クランフ・ソサエティ会員。お二人には、4人のお子さんと6人のお孫さんがいます。

End Polio Now

End Polio Now

2015年11月 ポリオ撲滅を目指して行動しよう

- ポリオのない世界への決意を新たに:世界ポリオデー
- 世界ポリオデーに合わせて、10月23日、ニューヨークでロータリーとユニセフが特別イベントを共同主催。ナイジェリアを含むアフリカ全体での野生ポリオウイルス無発症期間が続いている今、ポリオのない世界が限りなく実現に近づいていることが報告されました。なお、このイベントでは、Time誌の総合監修者であるジェフリー・クルーガー氏がモデレーターを務めました。
- ポリオ撲滅活動にロータリーが新たに約48億円を投入
- ポリオ撲滅活動は先ごろ、ナイジェリアが世界保健機関(WHO)によりポリオ常在国リストから外され、残る常在国はパキスタンとアフガニスタンの2カ国を残すのみとなるという歴史的な節目を迎えましたが、ロータリーは10月、新たに4040万ドル(約48億円)の投入を発表しました。そのうち、2680万ドル(約32億円)がアフリカにおける再発防止、670万ドル(約8億円)が常在国の一つであるパキスタン、530万ドル(約6億円)がインド、40万ドル(約4700万円)がイラクに割り当てられます。取り組みの中心となってきた世界ポリオ撲滅推進活動は、ロータリーのほかにユニセフとWHOなどが主要パートナーとなっており、ユニセフとWHOは、ポリオがまだ大きな保健問題となっている国々の政府や、ロータリー会員の協力を得て、予防接種を計画・運営する一方、ロータリー財団は、集めた寄付で資金提供しています。
- 2型野生ウイルスが撲滅認定
- Global Commission for the Certification of Poliomyelitis Eradication(ポリオ根絶のための世界認定委員会)は9月、2型野生ポリオウイルス(WPV2)が撲滅されたと発表しました。最後の発症例は1999年にインドから報告されたのみで、3型ウイルス(WPV3)は2012年11月にナイジェリアから報告されて以来、一度も見られていません。3型ウイルスが撲滅されれば、残る野生型ポリオウイルスは、1型(WPV1)のみとなります。

RI3350地区訪問

国際ロータリー第3350地区より招待を受けて訪問いたしました。



RI3350地区訪問

国際ロータリー第3350地区より招待を受けて訪問いたしました。



ロン・バートンRI会長からのメール



Ron D. Burton
President, 2013-14
T +1.847.866.3025
F +1.847.866.3390
ron.burton@rotary.org

2014年4月29日

3F Nishiei Bldg. 2-27-1, Habu-Cho
Kisiiwada City, Osaka
Japan 596-0825

地区ガバナー 久保 治雄様

この度、第2640地区が2015-16年度ガバナーを選出する2度目の手続きを完了したと伺いました。直前ガバナーの北中登一氏が実施した1度目の選出手続きでは、2012年9月に豊澤洋太朗氏を選出し、同年10月にRIへ必要書類を提出しています。これに対して当時、異議や選挙手続きに関する申し立てはRIに一切提出されませんでした。

ところが、久保様がガバナーに就任後、豊澤ガバナーノミニーは失職したとの通知を発行の上、2度目の選出手続きが実施されました。2014年3月に完了したこの2度目の選出手続きでは、2015-16年度ガバナーとして新たに岡本浩氏を選出するとの通知が地区内クラブに送られました。

ここでご留意いただきたい点は、1度目のガバナー選出手続きは正規に実施されたものであり、豊澤ガバナーノミニーを失格とする根拠がないことです。さらに、地区ガバナーには、既に完了したガバナー選出手続きを無効としたり、選出済みのガバナーノミニーを失格とする権限はありません。

従って、豊澤洋太朗氏が第2640地区2015-16年度地区ガバナーであることをここに確認し、ロータリーの「超我の奉仕」の精神の下、久保様をはじめ地区内すべてのロータリアンが豊澤氏をサポートするようお願いいたします。またこの点について、至急、地区内クラブへ通知を行ってください。岡本浩氏については、将来の地区ガバナー候補としてご検討いただくことを奨励いたします。

第2640地区における論争は未だ解決に至っていないことから、小沢一彦管理委員に引き続き、私の特別代表となつていただくことを依頼し、恒久的な解決に向けた調整をお願いしました。ゲイリー・ホアンRI会長エレクトも、2014-15年度に小沢管理委員が続けて調整役を務めることに同意しています。

第2640地区が相違を乗り越えて前向きな解決策を見出せるよう、地区リーダーと地区内ロータリアンが協力することを改めてお願いいたします。まずはこれまでの紛糾を過去のものと考えてはじめて、地区を健全な状態に戻し、ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を実現するための真の奉仕に取り組むことができるはずです。

ご協力をよろしくお願いいたします。

ロン・バートン

CC: ゲイリー・ホアン 2014-15年度RI会長
小沢一彦 ロータリー財団管理委員
松宮 剛 RI 理事
北 清治 RI 理事
ジョン・ヒューコ RI 事務総長

地区目標「ロータリーの原点に戻ろう」

地区運営方針

1. ロータリーの基本に戻り、奉仕と友愛を基調とした地区運営を目指す。
2. 地区内クラブの理解度不足による意見の相違を解決する。
3. 地区の各種会議をウェビナーで行う。
4. 地区内のクラブは年齢35歳未満の会員の会費と入会金を免除できる。
さらに、地区は、この年齢層の会員の地区賦課金を減額できる。

2015-16年度 地区目標

1. ロータリーの基本を学ぶ
2. 財団をサポートする
3. 会員増強に努める
4. 青少年活動を推進する

数値目標

会員増強 1クラブ純増 最低1名
新クラブ 最低1クラブの結成
財団寄付 200ドル/会員
ポリオ・プラス 50ドル/会員
米山奨学 20,000円/会員

ロータリーの特別指定月間

ロータリーの特別指定月間は、2015年7月1日より変更されます

- 8月: 会員増強・新クラブ結成推進月間
9月: 基本的教育と識字率向上月間
10月: 経済と地域社会の発展月間
11月: ロータリー財団月間
12月: 疾病予防と治療月間
1月: 職業奉仕月間
2月: 平和と紛争予防／紛争解決月間
3月: 水と衛生月間
4月: 母子の健康月間
5月: 青少年奉仕月間
6月: ロータリー親睦活動月間

12月：疾病予防と治療月間

予防医学とは

財団法人 予防医学会より

現在、日本における病的死亡原因の多くは、癌、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病でしめられています。また一方では、心(精神面)の不調が原因となる心身の病が非常に増えてきました。

そして、これらの生活習慣病や心身の不調や病には、高度に進んだ医学においても今だ根本的な療法は確立されていません。ですから、これらの病気や不調をさけるには、日頃からの予防が大切です。

予防医学とは、狭義には、病気を未然に防ぐ学問といえます。食生活を初めとする、生活習慣を正し、良質なイメージを心に持ち、病や心身の不調に抵抗できる身体を作ることが、これにあたります。

病気になったら治すという、治療医学に対して、病気にならないように予防するのが『予防医学』です。

また一方で、病気を予防するだけでなく、より広い意味で、傷害の防止、寿命の延長、身体的・精神的健康の増進も予防医学の一環と考えられています。

つまり病気の予防だけでなく、病気の進展を抑え遅らせることも、さらには、再発を防止することも予防であるとされています。それに基づき、予防医学は次のように分類されま

す。

これからの予防医学

これらのことを実践するには、人間科学(保健学、栄養学、看護学、教育学、心理学、認知科学(イメージ療法学))を主体とする多くの分野での研究が必要です。

特に、現代社会にみられる様々な健康問題に対応すべく、また充実した予防医学を展開する為には、各分野の連携が重要です。

なかでも、イメージ療法学や栄養学との連携比重を高めるべきでしょう。

というのも、これまでの予防医学は、治療医学と密接な関連性をもつものに限られていました。

特に日本では、一次予防、二次予防が公的な保健活動として、学校や地域社会を通じて実践され、多くの健康不安の解消に成果を収めてきました。

しかしその反面、医療の現場では、治療医学第一主義的考えが主流で、病気になったら治療することだけが目的化され、予防医学を軽んじる傾向がみられます。

食生活の欧米化や生活環境の複雑さが生み出すストレス過剰の社会に加え、高齢化社会の到来、薬剤依存の社会、環境汚染の拡大、癌、心臓病、アレルギーや精神不安の急増など、現代社会は国民の健康を蝕む要因が非常に増加し、健康不安を増幅させています。

このような状況の中、私達個人だけでなく、医療の現場での予防医学の実践が急務となっています。

いうまでもなく、健康管理は、一義的には自己責任です。ですから、国民一人一人が予防医学的考えを実践することが重要でしょう。

というのも、今後ますます社会生活が複雑化し、健康維持、増進、あるいは治療後の予後などについて、個人の責任においての対応が強く求められるからです。つまり自らの健康は自ら守るといふ、セルフケアライフの実践が強く求められています。

このような状況の中、時代は否応なく、治療医学一辺倒から、予防医学へと舵をきりました。この現象は、日本だけでなく、世界の趨勢となっています。特に欧米では顕著にみられます。

文庫通信(339)

ロータリー資料より

「■デジタル化された資料は「※」及び次ページの「番号.pdf」のリンクをクリックすると表示されます。

7ロータリー文庫通信 73397339号 2015年11月 地区大会講演から
9点 (1/1) 1

書名	著者/出版社	発行年	ページ	※
地球上で一番幸せの国、ブータンとは	ペマ・ギャル ポ D.2530地区大会 記念誌	2015	14P	※
生き甲斐はどこにあるのか	養老孟司 D.2670地 区大会記録	2015	11P	※
明日を信じて～震災を乗り越えて20年～	芹田健太郎 D.2680 地区大会記録誌	2015	5P	※
現代に生きる戦国武将の知恵	松平定知 D.2650地 区大会記念誌	2015	8P	※
ロータリー平和センターとウクライナ平和活動の経験	アンナ・スラヴィンス カヤ D.2680地区大 会記録誌	2015	3P	※
ロータリーに想う	千玄室 D.2650地区 大会記念誌	2015	6P	※
国際ロータリーの現状と私たちロータリー	黒田正宏 D.2680地 区大会記録誌	2015	6P	※
ロータリーを語ろう	中村靖治 D.2650地 区大会記念誌	2015	7P	※
ロータリーの日常の知識	三木明 D.2820地区 大会記録	2015	7P	※